

科目名	流通論入門	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学部	□ 必修 ■ 選択	
			総合政策部	□ 必修 □ 選択	
英文表記	Introduction of Distribution	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	くろさか かずひこ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	黒坂 和彦	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	流通の社会的役割や重要性を具体的事例も交えて学びながら、流通が直面する課題を整理し、将来の動向について考察する力を養う。				
到達目標	1. 具体的事例を通じて、流通に関する基礎知識を習得する。 2. 流通の現状課題を踏まえ、将来の動向を主体的に分析・考察ができるようになる。				
授業概要	初めに流通の役割、主体といった基礎知識を得た後、業態別の流通や消費財流通の類型化について学んでいきます。さらには流通情報システムやコンビニ業界のIT革新とデジタル革新について、また私たちの日々の生活を支える物流の仕組み・重要性・課題についても触れていきます。 本授業では、流通論についての入門書をテキストとして使用しますが、企業等の最新事例も交えて授業を進行します。				
授業計画	テキストと講義資料を併用して授業を進行します。				
第1回	イントロダクション				
第2回	流通の役割				
第3回	流通の主体と客体				
第4回	業態別流通（1）：鮮魚の流通				
第5回	業態別流通（2）：化粧品の流通				
第6回	業態別流通（3）：PB商品の流通				
第7回	無店舗販売：ネット通販を中心に				
第8回	消費財流通の類型化				
第9回	消費財流通の変化方向				
第10回	流通情報の基礎				
第11回	台湾ファミリーマートのIT革新とデジタル化				
第12回	物流の基礎				
第13回	先進テクノロジーによる物流革新				
第14回	消費財流通の現代的動向				
第15回	まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> 授業前にテキストの該当箇所を目を通し、各章に記載のある「流通コラム」については、感じたことをコメントできるようにしておいて下さい。(1時間程度) 日頃から新聞(オンライン含む)、TV、ラジオ等でニュースを確認して、経済の動きに関心を持つようにして下さい。(0.5時間程度) 				
履修条件 受講のルール	テキストに沿って授業を進行しますので、テキストを購入して下さい。				
テキスト	『流通論の基礎』第4版、住谷博・鍾淑玲 編著、中央経済社、2024年				
参考文献・資料	『ベーシック 流通と商業』第3版、原田英生・向山雅夫・渡辺達朗 著、有斐閣(有斐閣アルマ)、2024年				

成績評価の方法	<p>【レポート・小テスト（40%）、定期試験（60%）】 上記評価項目をベースにして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在の場合は、原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は、欠席とします。 ・授業の理解及び予習・復習が十分であるか確認するため、授業中に小テストを行うことがあります。 <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	月曜日 15:00～16:00、金曜日 14:00～16:00
成績評価基準	秀 (100～90点)、優 (89～80点)、良 (79～70点)、可 (69～60)、不可 (59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	<p>担当教員（黒坂）は、民間企業2社（ケミカル業界、製薬業界）で、香港や米国での駐在期間を含めて、長い間、マーケティング・販売の業務に携わりました。また、管理部門（法務、企画）の業務も経験しました。このような経験を踏まえて、皆さんが社会人になったときに役立つ内容も伝えていきたいと考えています。</p>
学生へのメッセージ	<p>流通は、我々の日常生活に深く関わっている領域です。衣食住に関する商品は、すべて流通のプロセスを経ています。普段当たり前に存在していて見過ごしがちな流通ですが、皆さんとその重要性や今後の動向を考えていきます。</p>